

農業と科学

1984
1

CHISSO-ASAHI FERTILIZER CO. LTD



構造改善と技術力で

厳しい難局を打開

チッソ旭肥料株式会社
代表取締役 副社長

酒井 良彦

明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、皆様方に、この年がよい年でありますようお願いするとともに、一言ご挨拶申し上げます。

本年は、当社が、チッソ株式会社と旭化成工業株式会社の肥料部門を統合し、新しい会社として発足して以来、早や15年目を迎えることとなります。この間、当社の肥料事業の発展につき皆様方の温かいご支援をいただきましたことを心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の農業をとりまく環境はますますきびしさを増して参りました。食糧の安全保障問題、飼料穀物の生産問題、行政改革と財政再建問題、諸外国からの農産物市場の開放要請等々、深刻な問題を抱えております。

この農業と不可分の関係にある肥料業界も同様に次のような苦しい情勢に立たされております。

すなわち、我が国肥料業界は、第一次、第二次の石油危機を経過するごとに、ますます海外との競争力を低下させて参りました。

また国内的にみましても、需要の低迷により、著しい設備過剰と稼働率の低下をきたしました。

これに対応するため、昭和57年6月、産業構造審議会の意見（「今後の化学肥料工業及びその施策のあり方」）が答申され、58年6月に構造改善基本計画が作成されましたことは皆様方も既にご承知の通りであります。

この構造改善基本計画に基づいて、肥料業界では生産・流通面の合理化をおこないつつあります。この肥料業界の構造改善は、我が国肥料の海外との競争力を回復し、国内では需要に見合った供給を安定的且つ安価におこなうための体制づくりであり、何としてでもやり遂げなければなりません。本年はこの生産流通面の合理化を実施に移す時でもあります。

当社といたしましては、この業界ぐるみの合理化には

乗りおくれることなく実施し、当社肥料事業の基礎をますます強固なものにして、皆様方に良い肥料を安く、安定的に供給できるよう努力いたします所存でございます。

当社は肥料業界でも有数の技術力を保持した会社であります。そのことは過去の新製品、新肥料の開発実績でも十分お判りいただけると思います。上記肥料業界の構造改善に伴う生産流通面での合理化をおこなうと同時に、このもてる優秀な技術力をフルに発揮して新しい肥料、新しい施肥技術を次々と開発しております。

殊に最近の土づくり運動の展開にもマッチした「土壌をあらさない農業資材」として、従来からの「磷硝安加里及びCDU化成」があり、それに引続いての「被覆肥料」である「ロング」や「LPコート」を上市いたしました。更に昨年5月、全農との共同開発の成果である「パーミキュライト床土用資材」の生産体制を完成し、販売に入りました。販売に入ってから期間はあまり長くありませんが、皆様方からは非常に好評を得まして目下順調に伸びております。

このように当社といたしましては、市場の要求を満足させる新しい製品を開発し、皆様方に少しでもお役に立てよう努力いたしたいと考えております。

「農業と科学」もお蔭様で皆様方から好評をいただき、ご愛読いただいていることを心から感謝いたします。これもひとえに皆様方の長年にわたるご支援と、ご執筆下さいました諸先生方のお蔭でございます。

今後一層内容を充実し少しでも皆様方のお役に立つよう努力いたしたいと存じますので、何卒ご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

皆様方のご多幸とご繁栄をお祈りして新春のご挨拶いたします。